

地域おこし協力隊

vol. 3

『陽子』の活動日記

地域おこし協力隊として活動を始めて約1ヶ月が経ちました。秋はいろいろなイベントに顔を出させてもらい、たくさんの地域の方々とお話しができました。みなさんあたたかく声をかけていただき、とても感謝しています。また、少しずつですが家の片付けをしながら田舎生活を楽しんでいます。

私の住んでいる家の裏庭には、大家さんのお父様がたくさんの果樹などを植えていたので、季節ごとに色々な果樹の収穫が楽しめます。11月は渋柿がたくさん実っており、干し柿に挑戦しました。一人では収穫から干す作業までとても大変なので、友達を呼び女性3人で収穫から始めましたが、取るに一苦労。柿の枝が邪魔で脚立がうまく立ちません。急遽、高枝切りバサミをお持ちのおじ様に助っ人で来ていただき、あっという間に渋柿の収穫は終わりました。来年は「高枝切りバサミを用意しておかねば!」と感じた瞬間でした。

収穫が終わったのが既に夕方前で、これから干し柿作業。とてもじゃないですが今日中には終わらず、いろんな方に渋柿をもらってもらった残りを、1週間もの時間

を費やし、干し柿づくりの作業を終えました。

しかし、近所の方から「獣害があるから干し柿を吊り下げる場所を考えた方がいいよ」とのアドバイスをいただき、倉庫の風通しのよい高い場所に吊り下げ、やっと終了しました。

干し柿を作るのに、こんなにも苦労をしましたが、これだけ頑張った干し柿を食べる日が待ち遠しいです。猿に食べられないように、毎日「ドキドキ」しながらその日を待っています。



※地域おこし協力隊・・・人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。